

小川和紙と有機農業から見る「自給的モノ作り」の現場

料金：1000円

今回の見学会は「自給的モノ作りを通じた小川町の豊かさ」の紹介を軸とした新しいまち歩きの一環として実施します。1300年の歴史を誇る伝統的地場産業が残る町として、その技術保存と素材確保への取り組み。今、注目を集めている安全で安心できる食とエネルギーの自給による日本の未来像の提案。小川町における取り組みを紹介することで、小川町内における文化・歴史・風土の継承と、小川町外へ情報発信による来訪者の増加と地域活性化を目指しています。皆様のご参加、こころよりお待ちしております。

<小川和紙> 埼玉県小川町、東秩父村周辺地域では、古来より和紙の生産が盛んであり、「小川和紙」の名で親しまれています。小川和紙は、1300年の歴史を有し、かつては江戸にもっとも近い和紙の一大産地として栄えました。その小川和紙の中でも、楮のみを使用した「細川紙」の製造技術は、昭和53年に国から重要無形文化財の指定を受けています。小川和紙は、素朴で温かみがある独特の風合いを持ち、使う人の心を引き付けています。

<霜里地区> また、小川町は全国でも有数の有機農業の盛んな地であり、特に下里地区は「下里農地・水・環境保全向上委員会」が平成22年度豊かなむらづくり全国表彰事業で農林水産大臣賞を受賞、併せて農林水産祭むらづくり部門の天皇杯を受賞するなど有機農業を通じた「美しく豊かな里」づくりのモデルとして注目されています。

実施日：10月23日(日)10:00～

会場：霜里農場「食とエネルギーの自給モデル」

有機農業と自然エネルギーの活用

埼玉伝統工芸会館「地図から見る小川町の風土」

小川町の風土とそこから生まれた地場産業

紙すきの村～久保昌太郎和紙工房～「自給的伝統工産業の復興」

地場産業としての和紙作りと地域資源を生かすモノ作り

工程：	時間	内容	会場
	10:00	集合	埼玉伝統工芸会館前
	10:20	地楮視察	下里地区柳町橋
	10:30	霜里農場見学	霜里農場
	12:30	昼食	下里分校
	13:10	小川和紙視察	埼玉伝統工芸会館
	14:30	地楮視察 小川和紙視察	紙すきの村～久保昌太郎 和紙工房～
	15:30	解散	



【お申込用紙】

お名前		グループ名	(団体の方のみ)
電話番号		FAX番号	
Eメール			
参加人数	人		

お問い合わせ・お申し込み

30世紀につながる小川町づくり委員会 担当：久保孝正((有)久保製紙 紙すきの村～久保昌太郎和紙工房～)

電話・FAX:0493-72-0436(受付時間:9:00～17:00/月曜定休)

E-MAIL:ogawa-washi@mbn.nifty.com